

広 報

# はんの樹



*2021年度を迎えて	2頁
*2021年度収支予算	3頁
*2021年度事業計画	4-5頁
*最近の出来事から	6-9頁
*各課便り	10-14頁
*お誕生日おめでとう	15頁

社会福祉法人 樟桐会  
はんな・さわらび療育園  
群馬県高崎市濤名山町28-30

## 2021年度を迎えて

初夏の候、皆様には新型コロナウイルス感染症との共存生活で不自由さの中にあっても益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策に追われ瞬く間に2020年度が過ぎ、1年以上経過した今も制約を受けながらの生活が続いております。そのような中ではありますが、おかげさまで当法人では5月末までに接種可能な全職員のワクチン接種が終了しました。また、徐々にではありますが高齢者接種の対象とされる入所者の方々へのワクチン接種も進んでおります。

当法人の運営する各事業所におきましては、利用者の皆様に新型コロナウイルス感染症の影響で様々なご不便をおかけしております。特に入所されておられる利用者の方々に対する面会につきましては窓越しの面会やオンライン面会にご協力いただいておりますが、これらのご協力により何とか施設内に新型コロナウイルス感染症を持ち込むことなく過ごすことができております。本当にありがとうございます。

これから基礎疾患を持つ方々を対象とするワクチン接種が進む予定ですが、1日でも早く体制を整え、ご家族の皆様には直接ゆっくり面会をしていただけるように準備を進めてまいりますのでもうしばらくのご協力をお願い致します。

さて、2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を続ける1年であることは間違いありませんが、当法人が本来取り組む事業に関して触れたいと思います。

2021年度の事業計画では「確実に安全な移転計画の準備を進め、移転を実現化する。」をテーマに事業を進めたいと考えています。目標としては入所施設移転計画の完成、品質保証システムの整理と活用、スキルアップシステムの定着、予算に基づいた事業の遂行、そして身体拘束0の実践を掲げました。

まず、入所施設移転計画の完成ですが、おかげさまで移転地である浜川公園隣接地において3月12日に新施設建築の起工式を執り行い、着々と工事が進んでおります。来年の4月には完成し、6月までに移動する予定です。今後はいかに安全に利用者の方々を搬送し、移転地での生活を安心して過ごしていただくかの計画を完成して実行できるよう準備することが第一の目標になります。次に品質保証システムの整理と活用ですが、私どもの法人は2019年度にISO 9001の認証を取得しました。私どもにとっての品質とは、医療・福祉サービスの質であります。これを担保するために作成したマニュアルをより良いものにブラッシュアップしていきたいと思っております。

次にスキルアップシステムとしての人事考課制度の構築は、法人が求める職員像、役職者像を明らかにし、それに向かって努力をするというスキルアップを目的としたものになっています。各人がどのようにスキルを向上させるべきかの指針を作り、これを目標に自己研鑽を続けていただくということです。これは自立性の向上にもつながると考えています。

そして身体拘束0の実践ですが、今まで利用者様の安全を考えやむなく実施させていただいた身体拘束ですが、移転を迎えるのにあたり、もう一度解除できないかどうかを検討し、是非、身体拘束0に向けて努力を続けたいと考えております。

このように様々な事業を並行して行わなければなりません。その中においても創設の理念を職員とともに深く認識し、スタッフ全員がスキルアップを図りながら協力して進めていこうと思っておりますので、今年度もご支援ご協力をお願い申し上げます。



はんな・さわらび療育園  
園長 金子 広司

## 令和3年度 社会福祉法人 榛桐会 資金収支予算

## 令和3年度当初資金収支予算書

## 社会福祉法人 榛桐会

(単位:千円)

勘定科目		はんな・さわらび拠点区分	さわらび通所支援拠点区分	ハーモニー高崎拠点区分	きめの郷拠点区分	浜川在宅支援拠点区分	法人合計
事業活動による収支	収入						
	介護保険事業収入			320		2,667	2,987
	児童福祉事業収入	14,265					14,265
	障害福祉サービス等事業収入	435,046	16,610	125,600	79,915	78,265	735,436
	医療事業収入	1,082,063				46,350	1,128,413
	借入金利息補助金収入						0
	経常経費寄附金収入	300					300
	受取利息配当金収入	100					100
	その他の収入	5,510				120	5,630
	事業活動収入計(1)	1,537,284	16,610	125,920	79,915	127,402	1,887,131
支出							
人件費支出	949,987	21,083	87,802	74,427	129,282	1,262,581	
事業費支出	176,013	3,507	19,807	8,061	14,481	221,869	
事務費支出	174,184	714	19,218	5,136	16,738	215,990	
支払利息支出	150					150	
その他の支出	4,044				21	4,065	
事業活動支出計(2)	1,304,378	25,304	126,827	87,624	160,522	1,704,655	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	232,906	△ 8,694	△ 907	△ 7,709	△ 33,120	182,476	
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等補助金収入	722,485					722,485
	施設整備等寄附金収入						0
	設備資金借入金収入	500,000					500,000
	固定資産売却収入						0
	その他の施設整備等による収入						0
	施設整備等収入計(4)	1,222,485	0	0	0	0	1,222,485
	支出						
	設備資金借入金元金償還支出	12,504					12,504
	固定資産取得支出	1,835,408					1,835,408
固定資産除却・廃棄支出						0	
ファイナンスリース債務の返済支出						0	
その他の施設整備等による支出						0	
施設整備等支出計(5)	1,847,912	0	0	0	0	1,847,912	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 625,427	0	0	0	0	△ 625,427	
その他の活動による収支	収入						
	積立資産取崩収入	445,329					445,329
	事業区分間繰入金収入						0
	拠点区分間繰入金収入	10,000	8,700		7,700	7,200	33,600
	その他の活動による収入						0
	その他の活動収入計(7)	455,329	8,700	0	7,700	7,200	478,929
	支出						
	積立資産支出	100,000					100,000
	事業区分間繰入金支出						0
	拠点区分間繰入金支出	23,600		10,000			33,600
その他の活動による支出						0	
その他の活動支出計(8)	123,600	0	10,000	0	0	133,600	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	331,729	8,700	△ 10,000	7,700	7,200	345,329	
予備費支出(10)	15,000					15,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 75,792	6	△ 10,907	△ 9	△ 25,920	△ 112,622	
前期末支払資金残高(12)	468,892	23	11,207	79	25,962	506,163	
当期末支払資金残高(11)+(12)	393,100	29	300	70	42	393,541	

## 2021年度 社会福祉法人榛桐会 事業計画

### 1. 理念

愛と奉仕の精神

### 2. 運営基本方針

社会福祉法人 榛桐会は、創始者のキリスト教の愛と奉仕の精神に基き、心身障害児・者およびその家族の生活を支援する地域の中核施設の役割を担っていることを認識し、はんな・さわらび療育園の入園事業、通所事業および地域支援事業、ハーモニー高崎ケアセンター事業、ゾーン・サポートきぬの郷事業、浜川こどもとおとなサポートセンター事業を行い、社会福祉に貢献する。その運営に当たっては、品質方針として「利用者様に安心して生活していただけるよう常に安全・誠実・快適な支援を心がけ、充実した医療・福祉サービスの提供により、幸せ創りに貢献します。」を掲げ、施設利用者の直接処遇対策を最優先させ、その実現のために職員は謙虚な姿勢で研鑽に励み、努力を続ける。また、その経営に当たっては、合法にして堅実な事業資金をもって、適正な資金運用により安定した経営ができるように努める。これらの基本方針に基づき、各職員は職務に当たるとともに、それぞれの専門知識や技術の修得向上に努める。

### 3. 目標

入所施設移転実施計画の完成  
品質保証システムの整理と活用  
スキルアップシステムの定着  
予算に基づいた事業の遂行  
身体拘束0の実践

### 4. 事業活動

\*継続事業：方法および内容については、現行どおり

#### 1) 第1種社会福祉事業

療養介護事業所（障害者総合支援法）および医療型障害児入所施設（児童福祉法）の経営

#### 2) 第2種社会福祉事業

##### ①障害福祉サービス事業の経営

生活介護事業所（障害者総合支援法）、福祉型児童発達支援センターおよび放課後等デイサービス事業（児童福祉法）の多機能型事業所3カ所の経営

##### ②相談支援事業の経営

##### ③介護保険事業の経営

通所介護（地域共生型）

#### 3) 公益を目的とする事業

歯科診療所の経営

訪問看護事業所（訪問リハビリテーション）の経営

居宅介護事業所の経営

高齢者・障害者向けの福祉有償運送の実施

#### 4) その他社会福祉の増進に必要な事業

##### ①ハーモニー高崎ケアセンターの管理・運営

##### ②高崎市相談支援事業

##### ③高崎市総合福祉センター（障害児者機能訓練）

##### ④群馬県障害児早期療育事業の支援（マザー&チャイルド事業）

\*具体的な計画

#### 1) 入所施設移転のための計画書作成（利用者様搬送と物品の移動計画等2021年6月度内策定）

#### 2) ユニット運営計画作成

#### 3) ISO 9001システムの整理と活用・品質マニュアル等の変更

#### 4) スキルアップシステムの定着（人事考課制度の導入）

#### 5) 会議の効率化（伝達能力の向上（1分間で要件を伝える訓練）5W2Hの明確化）

#### 6) 支出抑制策の検討

#### 7) 身体拘束0に向けて「5つの方針」のもとに取り組む

障害者虐待防止法第2条の7第1項において、「正当な理由なく障害者の身体を拘束することは身体的虐待に該当する行為」とされており、虐待防止の観点からも身体拘束廃止を実践する。

##### ①トップが決意し、法人が一丸となって取り組む

##### ②みんなで議論し、共通の意識をもつ

##### ③まず、身体拘束を必要としない状態の実現をめざす

##### ④事故の起きない環境を整備し、柔軟な応援態勢を確保する

##### ⑤常に代替的な方法を考え、身体拘束するケースは極めて限定的にする

#### 8) 在宅支援関係事業の安定運営について

独立採算事業への改善

##### ①さわらび通所支援センターの利用率改善（定員へ）

##### ②ハーモニー高崎ケアセンターの利用率改善（利用率20%増）

##### ③ゾーン・サポートきぬの郷の利用率改善（定員へ）

##### ④浜川こどもとおとなサポートセンター（通所、訪問看護、居宅介護、歯科診療所）の収支改善（全体としての赤字率改善：最低でも経費の90%まで収益を上げる）

#### 9) 人材育成について

##### ①職員教育（役職者育成、監査対応力向上、各職員の自立性向上）

## 5. 法人本部事務局

### 事務局の目標

事業の経営基盤強化と施設移転(2022年)以降を見据えて法人全体の機能の整備、施設移転における予算の適正な執行と財政基盤の充実を図る。財務の逐次分析を行い、その結果を共有し対策を考え、収益向上に努める体制づくりを推進する。移転に向け当法人では、より充実したサービスの提供「組織的な経営」への変革が必要とされる。そのためには、自立した組織としてコンプライアンスやリスク管理や業務に関する手続き等、業務の適切性を確保する内部管理体制の構築が必要である。具体的には、法人本部機能の確立と拠点管理業務を行うものである。法人本部機能の確立については、法人全体をグループ経営の視点でとらえ、現場で有る事業所・施設や法人本部・事務部の階層ごとの役割と責任を明確にすることに努める。本部は、法人改革や財務管理、成長戦略策定、榛桐会全体の業務効率や質の向上に寄与できるよう努める。「拠点管理業務」では役職者がマネジメントのできる体制を作り、責任をもって、施設・事業所や各部の運営が出来るようサポートする。

### 新たな取組(重点施策)

2020～2022年度は、法人経営管理機能の強化と在宅系事業所でのキャッシュ・フロー経営を推進させ、事業計画・数値目標の達成を目指すと共に、新たな法人組織の在り方を検討していく。総合的に、各拠点・各事業への支援を進めノウハウを蓄積していく。移転を円滑に実施できるよう「さわらび医療福祉センター」移転準備室を開設する。ISO9001の内部監査を効果的・効率的に実施する。浜川こどもとおとなサポートセンターにおける地域での公益的な活動を積極的に広報し、地域と連携し、地域に根差した事業の発展に努める。人材の確保・育成は法人の根幹であり、注力していく。特に女性の活躍、働きやすい環境づくりに努める。政府が進める「働き方改革」の中で同一労働同一賃金を推進させる。キャリアパスや職員の健康増進など長期に働ける環境の整備と次世代経営層(リーダー)の育成を強化するため、階層別研修や専門研修を充実させていく。

#### \*法人本部の機能

- ・改正社会福祉法に基づく理事会・評議員会体制の整備、安定的な運用を図る。
- ・理事会の意思決定に基づき、法人全体の各事業の計画的な進行管理を行う。
- ・収支状況等の経営上の課題や、サービス提供等の事業運営上の課題について、現状だけでなく、起こりうるリスクを含めた具体的な情報や外部や法人内の各事業部門から収集、分析すること。その結果について考えられる対応策を含め、常任理事会、理事会に報告、判断を求める。

#### ：具体的な業務

- ・理事会及び評議員会の議案及び日程の調整と適正な運営、議事録の作成
- ・事業計画・事業報告書の作成
- ・施設ごとの利用状況及び収支や法人全体の収支等経営状況の把握
- ・法人の課題分析、対応策の検討
- ・拠点ごとや法人全体の財務指標の作成、経営分析
- ・法制度改正等経営判断に必要な情報の収集、分析
- ・関係法令の読み込み、変更点の理解(児童福祉法、障害者総合支援法、医療法、健康保険法、診療報酬制度、労働基準法等)
- ・各事業部門からの連絡・報告・相談の窓口
- ・群馬県、高崎市、甘楽富岡4市町村との連絡・調整
- ・会計においては事業区分・拠点区分の管理・サービス区分ごとの有効活用、法人単位の資金管理
- ・職員管理(人材確保・女性の活躍推進と多様な人材の活用を重点課題とする。)
- ・人材育成のために法人理念や倫理綱領等の理解を深めるためのテキスト作成をする。  
(各職員が榛桐会職員としての誇りと責任を持って行動するよう。0.育成する)
- ・関係機関との連携
- ・災害時の事業継続体制及び防犯体制の整備
- ・企画業務(法人の方針に基づく各種企画立案・支援・広報活動)
- ・内部監査及びサーベイランス審査の円滑な実施  
(ISO推進会議の円滑な運営)
- ・人事制度設計(トータル人事制度) 人事考課制度の試験的な導入
- ・移転準備(基本構想→基本計画・管轄する行政との連絡調整並びに必要な申請・届出の実施・移転準備室の設置・移転計画書作成)
- ・施工現場打合せ・工程確認及び行政への施行報告書作成、移転計画書及び仕様書作成)
- ・既存の規程等の見直し及び移転後のシステムに則った規程等の策定を事務局と協働し実施し、不要文書を廃棄する。
- ・会議の効率化を図るための準備を行う。(要点整理)
- ・事務局と協力して事業実績ヒアリングの見直しを行い、各事業所の収入確保、支出抑制を行い、在宅部門の独立採算を推し進める。
- ・予算・決算(予算執行状況の確認)
- ・地域貢献については、在宅重視への制度改革を受けて、法人の存在意義及び社会的使命を障害者総合支援法に準拠した形でさらに明確にし、浸透するよう努める。
- ・各事業でサービスの質を高める取り組みの推進・基盤作り  
(人権意識の向上に向けて、各事業所での虐待防止、人権教育、苦情解決、個人情報保護の取り組みが計画的に行えるよう、協議しながら、それぞれの進捗と成果を確認する。)
- ・ハラスメント対策(事務局と協働。研修の実施・ハラスメント対策マニュアル作成)
- ・法人経営管理機能の強化(外部環境も含めた将来に対する検討及び対策)
- ・事務局と連携し拠点における在宅支援事業の経営安定化支援を行う。人的リスクの回避と他の施設との差別化等の経営戦略を練る。)
- ・情報発信(広報)  
ホームページ並びに機関誌について、定期的な更新・発行を行う。又、より良い内容にするために情報収集に努め、評価をしながら改善に努める。



## 最近の出来事から

3月11日 令和二年度「二葉」卒業を祝う会



令和二年度 群馬県立二葉特別支援学校 はんな・さわらび療育園 訪問教育の卒業を祝う会が執り行われました。今年度は、特別支援学校中等部1名の生徒さんが卒業を迎えられました。

ブレザー服、胸元にコサージュを付けられ、「似合うね、大人っぽいね。」とご家族や先生、職員から声をかけられ、和やかな雰囲気の中、式が進められました。

卒業の歌として、「旅立ちの日に」を参加者全員で合唱しました。歌詞には、希望に満ち溢れた未来へ勇気を持って飛び立ってほしいという思いが込められています。今回卒業された方も、先生方と学ばれたことや学校生活を共に過ごした生徒さんのことを、これからも思い起こしていただきたいです。

この度はご卒業、誠におめでとうございます。

4月1日 新入職員研修



今年度は、13名（リハビリ職員3名、看護職員8名、福祉職員1名、管理栄養士1名、）の新入職員を迎え入れることが出来ました。

例年は新入職員研修を3日間行っていますが、新型コロナウイルス感染症予防の為、昨年度同様に日程を短縮して実施しました。当法人についての基礎知識、社会人としての意識、ビジネスマナー、防犯・防災、個人情報保護等について学びました。

参加された職員の皆さんは、真剣に研修に臨まれており、その姿が大変印象的でした。

今回学んだ知識を、はんな・さわらび療育園の各部署、法人内の他事業所の配属先での業務に活かしていただきたいと思えます。

## 4月15日 「二葉」入学・進学を祝う会



群馬県立二葉高等特別支援学校のはんな・さわらび療育園訪問教育による「令和3年度入学・進学を祝う会」が当園の通園棟で行われました。

入学される方のご家族のみ来園していただき、進級の方は病棟よりZOOMによるリモート参加となりました。入学された方は、綺麗な衣装を着て、みんなに進学をお祝いされました。

これから暑い日々がやってきますが、体調を崩さずに1学期の勉強を頑張ってください。

## コロナワクチン接種



4月19日から5月21日の期間で当法人内で職員の新型コロナワクチン接種が行われました。接種後から翌日に掛けて筋肉痛のような痛みが接種した腕にありましたが、その後は痛みもなく、業務に取り組む事が出来ました。中には、発熱で翌日お休みされる方もいましたが、その後は発熱も収まっております。

職員のワクチン接種が完了しましたが、ワクチン接種を行ったから感染しないというわけではないので、職員共々改めて身を引き締めて業務・生活していきます。

## 5月28日 春まつり

強まる日差しに夏への移ろいを感じる季節を迎える中、はんな・さわらび療育園では春祭りが行われました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為開催できませんでしたが、今年度は規模を縮小して各棟内で開催しました。

一棟では、職員による楽器演奏に合わせて皆さんで歌ったり、利用者様自身もペットボトルで作った楽器を演奏しました。二棟では、利用者様によるカラオケ大会を開催し、自慢の楽曲を歌い皆さんで大盛り上がりでした。催し物が終了すると管理栄養士の方がこの日の為に考えてくれたおやつを皆さんで美味しく召し上がっていました。利用者様のみなさんは終始笑顔で楽しんでおり、一緒にいるこちらもより楽しく元気を頂きました。来年度は規模を縮小せず行なえる事を心から願っています。





## ～新施設建築関係～



3月12日に高崎市大八木町の移転予定地にて、「さわらび医療福祉センター 新築工事 起工式」が執り行われました。

当日は鈴木理事長、金子常務理事のほか、理事5名、評議員5名、監事2名に加え、法人の職員が10名参加しました。

地鎮行事では、苜初め儀が行われた後、鍬入れの儀が行われ、鈴木理事長が、大きな声で掛け声をかけながら、盛砂に3度鍬を入れました。その後、鋤入の儀が行われ、神様の前で建築のお許しを得ることができたと感じられました。

事故等がなく無事に竣工式を迎えられることを願います。完成までが待ち遠しく感じられる起工式となりました。

4月21日より工事が開始し様々な作業が順次行われていきました。まずは地盤を補強するためにコンクリートを大きな重機によって10メートルに及ぶ深さまでに掘り進め、流し込み補強が行われました。

その後、建物の基礎と地盤を結合するためのコンクリート杭を地中に埋設していきます。地盤補強の際の重機に加え大きなクレーン車を用いてコンクリート杭を持ち上げ、重機で掘った穴に差し込んでいきます。(写真)



コンクリートを流し込んでいます！



埋めるコンクリート杭



クレーンで杭を吊っています！！



コンクリート杭を埋める作業

# 各課便り

## 第一療育課から

### 入職後一年経過

早いもので入職して一年が経過しました。初めての転職で右も左もわからない中、一棟の方々には大変熱心にご指導頂き、感謝申し上げます。

これから何年こちらでお世話になるかわかりませんが、「知らない」と言われるその日まで、全力で頑張ろうと思います。

(看護師 飯塚祐真)



### 新年度を迎えて

春の訪れとともに、新年度がスタートしました。昨年より新型コロナウイルスが流行し一年以上が経ちましたが、未だに収束には至っていません。それでも季節は変化し、さわらびにも桜の花が咲き、春がやってきました。保護者様との面会も未だに窓越しでしかできませんが桜の花の下で写真を撮ったり、木の下を散歩したりと、利用者様は昨年と変わらず元気に過ごされております。

最近では、こどもの日に向けて利用者様の手形や足形を取り、利用者様と一緒に鯉のぼりを作成しました。スタンプの感触や鯉のぼりの制作を楽しまれたようで、笑顔も沢山見られました。今年度も、活動や制作等を行なう中で一日一日健康に楽しく利用者様と過ごしていきたいです。

(保育士 萩原希望)

### 出会いの季節

長かった冬も終わり、榛名の山も桜が見頃を迎えています。環境が変わることの多い四月は、新たな人との出会いが多い季節でもあります。新しい学校、新しい職場、新社会人と、様々な場面でいろんな出会いがあります。まだ長引くコロナ渦の中で、何かと我慢と制限を強いられている今、皆様になにか新しい出会いはありましたか？

私は看護師になって八年目を迎え、さわらびに入職してから二年が経ち、今年から新人さんの指導をやらせていただいています。とてもフレッシュで素直な新人さんを見てみると、自分が看護師になったばかりの時を思い出し、とても懐かしく思う反面「慣れ」の怖さを実感する場面も多くなってきたように感じます。よく「初心にかえる」といいますが、看護師になったばかりの頃を思い出し、その頃のような純粹な気持ちで気を引き締めてこれからも頑張ってい

こうと思います。そして新人さんと共に自分も成長していきたいと思えます。

(看護師 須永百花)



### 鯉のぼり

新緑の香りがさわやかな季節となりました。

先日、五月五日の端午の節句に合わせて、利用者様と鯉のぼり作りをしました。手形や足形を花紙にスタンプし、鱗に見立てて画用紙に貼り付け、テープやクレヨンでデコレーションして完成させました。色とりどりで個性豊かな鯉のぼりが出来ました。利用者様の笑顔も見られ、楽しい時間となりました。

先の見通しが付きにくい状況が続きますが、利用者様のため出来る事を考えて支援にあたっていきたいと思います。  
(社会福祉士 林千尋)



### 環境の変化

コロナの勢いは収束することなく、まだ気が抜けない日が続いています。そんな中で私は三月からチームが移動になりました。戸惑うこともありましたが、徐々に業務にも慣れてやりがいを感じてきました。また、今までとは違う利用者様と関わり始め、まだまだ学ばなければいけないことが多いと実感しています。限られた環境の中ではありますが、今よりも利用者様を理解することができるようになり、積極的にコミュニケーションをとっていきたくです。

(看護師 松本 芹香)



## 第二療育課から

### 利用者様と過ごして

早いもので入職してもうすぐ二年がたちます。利用者様を理解し仕事に慣れるのようにならぬ夢中であつという間のように思います。昨年よりコロナに振り回されて過ごしてきましたが、その分利用者様と深く接することができ、個々の関わりが楽しく思えるようになりました。

今後も利用者様への介入していく中で、生活が豊かなものとなるよう看護師として日々努力していきます。

(看護師 岩崎 洋子)

### さわらびの春の日常

三月下旬、さわらび周辺も春の風が気持ち良く感じられる日も増えてきました。二棟の利用者様も職員も変わりなく過ごしています。皆様も元気に過ごしてください。

コロナが流行して早くも一年以上が経過し、まだご家族の皆様にお会いできない事がとても寂しく残念です。利用者様の表情からもやっぱり寂しさがかえります。

棟内もまだまだ思う様な活動が出来ていませんが、最近ではリビングに布団を敷いて数人で遊んだり、戸外散歩で春を感じたり、居室にてトランプポリンで遊んだり、この状況の中で出来ることをして楽しく過ごしています。

まだ終息するには時間が掛かりそうですが、早く皆様に会えることを利用者様と一緒に願っています。  
(准看護師 茂木 晶子)

## 予防接種

新緑の鮮やかな季節になりましたが、今だ新型コロナウイルスの脅威に怯える日々が続いています。

四月より新型コロナウイルスのワクチンの予防接種が当園でも受けられるようになり、自分も接種を受けました。世界中の多くの人々が予防接種出来て、利用者様の家族面会の制限がなくなる生活が戻る事を望んでいます。一日も早くこの状況が収まり、ご家族が元通りに面会できる日を中心より願っています。そしてその日まで感染者を出さないように私たち職員もできることを最大限行っていきたいと思いません。

(看護師 田中元裕)

## 利用者さんの笑顔

新型コロナウイルスの影響で、利用者さんの皆様とご家族様方の面会ができない日々が続き一年以上経ってしまいました。

この五月で職員のコロナワクチンも接種が済みましたので安心です。一般の方々のワクチンも少しずつ進んできていますので、面会できるのも、もう少しかと期待出来そうですね。利用者様とご家族様の笑顔は我々職員喜びです。待ち遠しく思っています。

(看護師 関根久美子)

## リハ課から

### ありがとうございます

暖かい日も少しずつ増え、榛名では梅がきれいに咲いています。上里見町にある榛名梅林は梅の生産量が東日本一だそうです。また、箕郷町や安中にも梅林があるのをご存じですか。それらは群馬の三大梅林と言われているそうです。桜とはまた異なる趣を感じられると思います。ぜひ皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

私は作業療法士としてはんな・さわらび療育園に二年間勤務させていただきました。この文章が掲載される頃には、私は次の夢に向かって奮闘していることだと思えます。末筆ながら、皆様の末永いご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。またお会いできる日を楽しみにしております。ありがとうございます。

(作業療法士 小林玲菜)

## 最後の一年

まだまだ寒い日も多いですが徐々に暖かい日も増え、山の下では梅の花がちらほらと咲いてきました。来年の春には移転を控え、山の上で過ごす最後の一年が始まるうとしていきます。

私は昨年の四月に一棟に異動となり、みなさんと初めましての挨拶をしてから早くも一年が経とうとしています。担当させていただいてる方の中には、初めは目が合わなくても徐々に目が合うことや笑顔を見せてくださる事が増えた方がいます。また、「これやってもいいかな?」というように駆け引きをしながらやりとりをする方など、徐々にお互いのことを知りあえて嬉しく思う日々を過ごしています。

今年も雪が降った時には洗面器や袋に雪を入れて一緒に触ったりフカフカの雪に手形を押したりして、驚いた表情や気持ちが良いような表情、冷たくて嫌そうな表情など皆さんの様々な





表情をみることができました。こんなにも四季を感じる事ができるのは山の上ならではの最後的一年、みなさんとより良い日々を過ごしていきたいと思えます。

(言語聴覚士 新井愛菜)

## 新年度を迎えて

四月を迎えこれまでの風の冷たい季節から風も徐々に暖かくなり、心地よく感じるこののである日が増えてきました。昨年度から引き続き一棟Bチームのリハビリを担当させていただいています。利用者様においては昨年度、新型コロナウイルス感染症予防の観点から様々な経験をやる機会が少なかったと思います。今年も引き続き利用者様には生活の中で楽しい、心地良いと感じていただけるように限られた環境の中で工夫を行いながら、支援を続けて参りたいと考えております。

まだ寒さを感じる日もあります。利用者様、職員ともに体調管理を怠らず窮屈に感じしてしまう環境ではありますが、日々を元気に過ごしていきたいと考えています。

(理学療法士 入内島駿弥)

## 願い

新緑の香りが清々しい季節となりました。私が、はんな・さわらびに入職してから早いもので一年が過ぎました。今年度から配属するチームが変わり、新しい利用者様と関わらせていただけることになりました。新たな環境で不安も大きかったのですが、職員とのやりとりで楽しいような表情をされる利用者様や、熱心にリハビリに取り組まれる利用者様の姿を見て、毎日励まされています。利用者様とは、主にリハビリで関わる事が中心となっておりますが、リハビリ以外の生活の場面でも利用者様から学ばせていただくことが多くあり、自分自身の未熟さを痛感しております。

そんな中、世間では未だ新型コロナウイルスの話題で溢れています。園の利用者様も毎日ニュースで流れる感染者数を気にされており、「今日は何人だろう」と不安の声があがっています。依然として面会や園内行

事の制限が続いているため、寂しい思いをしていることと思います。感染予防対策の中で、できることは限られてしまいますが、利用者様の為に何ができるか日々模索していき、充実した生活が送れるよう精進して参りたいと思います。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々が取り戻せるよう心から願うばかりです。

(理学療法士 清水紗彩)



## 入所者からの学び

二棟に入所していたHさんに普段みられる手の使い方です。ものを持つてその表面を指の屈伸で擦ります。持ったものを顔に当て、ものの表面を指で擦って生じる振動を楽しんでいきます。このような手の使い方が多くみられるHさんのリハビリの目標は、手を使った適応機能を向上させることです。手に触れる素材や状況を変えて関わりましたが、自分の好む手の使い方になる傾向にありました。

Hさんの食事についてです。水分はコップの縁を口に当て、少量の水分を口から出し入れする感覚を楽しみながら自分で摂取しました。その他は職員が全介助していました。摂取量に偏りがあり、水分以外を拒否することが多かったです。その後、Hさんは一棟に転棟して私は関わることがなくなりました。新年度から私も一棟の配属になりました。まず、Hさんがスプーンを持って食事をしている

場面が目に見え込んできました。食事拒否があるHさんになぜスプーンを持って自分で食べることを提案できたのか職員に尋ねました。食事拒否に難渋した職員が困った挙げ句、自分で食べるか試してみたということでした。食事の時、Hさんにみられる前述した手の使い方はみられず、食具を使って食事ができていたのです。私のHさんに対する理解の乏しさを実感しました。食事行為と手の使い方について改めて考える機会を得ました。今後のリハビリに活かしていきたいと思いました。

(作業療法士 横地光子)



## この一年を大切に 頑張ります

春の空気が心地よく新緑が眩しい季節になりました。皆様には日頃よりさわらび通所をご利用いただき誠にありがとうございました。どうぞございます。

二〇二一年度を迎え、来年度の療育園の移転に伴う当通所事業所の活動の終わりが迫って参りました。前身の通所支援センターから長い間この地で皆様にお世話になってきましたが、三月末でその役目を終えることになりました。これまで私たちは利用者様ご家族様への感謝を忘れず、安心で心地よいサービスを提供しようとして日々努力してきましたが、この気持ちの皆様が届いていましたでしょうか。接遇の向上を法人事業所全体で努力しておりますが果たしてど



うなのか。改めて考えてみました。毎日利用者様をお迎えに行った時、あるいはご家族様の送迎で利用者様が事業所へ到着した時、私たちも精いっぱい笑顔、明るい声での挨拶を心掛けています。でも、それ以上に利用者様ご家族様の方が明るい笑顔、挨拶で私たちを出迎えて下さっているのです。私たちの方が心地よく仕事をさせていたいただいているのです。どのご家庭に伺ってもそのような感じます。お迎えした時もそうです。職員一同そのことへの感謝を忘れずこれからも皆様の心に寄り添ったサービスを全力で提供していきたいと思っています。

これからも皆様との時間を大切に、この言葉を胸に頑張ります。

「小さな事業所ですが、皆様の大きな力になります。」  
今年度もさわらび通所支援事業所をよろしくお願ひ申し上げます。

(管理者 飯野茂樹)

## お誕生日おめでとう！

5月			4月			3月		
1日	松本 正道 様	63歳	2日	高橋 三七子 様	66歳	1日	小椋 恵子 様	66歳
2日	今野 ゆい子 様	4歳	5日	三浦 咲子 様	39歳		小林 孝子 様	61歳
9日	江村 昌彦 様	33歳	8日	小須賀 章予 様	64歳	10日	志村 心 様	16歳
	川田 真惟 様	26歳	14日	金子 有香 様	48歳	11日	小暮 百合子 様	59歳
10日	山口 茂 様	71歳	16日	須田 登志子 様	69歳	12日	新井 美輝 様	19歳
	加部 みゆき 様	46歳		安達 広志 様	58歳	20日	伊藤 芳明 様	72歳
16日	尾谷 彰 様	48歳	18日	新井 良章 様	58歳	21日	武井 節子 様	77歳
22日	植木 英和 様	60歳	20日	高瀬 祥子 様	62歳		広岡 直昭 様	59歳
23日	須田 一二三 様	48歳		今井 愛理 様	16歳	24日	斉藤 有子 様	63歳
27日	斉藤 信好 様	69歳	25日	石井 優也 様	28歳	30日	安藤 貴子 様	50歳
30日	渡辺 歩 様	30歳	30日	滝沢 麻佐巳 様	45歳			



## 編集後記

新年度が始まり皆様はどのようにお過ごしでしょうか？新型コロナウイルスのワクチン接種や蔓延防止等重点措置が行われ引き続き注意を払った生活が続いております。私ども法人では職員のワクチン接種が完了しておりますが、引き続き昼食の時間を分けたり、対面での食事を避けたり、各チーム間の移動を制限しております。

さて、移転後の新施設の工事ですが、起工式が3月に行われ、4月から工事が着工いたしました。梅雨の時期に入り工事の進捗具合が不安でしたが、順調に進んでおり、職員共々完成が待ち遠しいです。広報誌を通して、皆様には進捗や風景をお伝えすることが出来たらなと思っております。

今年度も皆様にはご迷惑をお掛けすると思っておりますが、ご支援ご協力をお願い致します。

(法人事務局 萩原)

## 2021年3月～5月の主な行事

- 三月
- 二日 火 研修委員会
  - 四日 木 人事考課会議／ハラスメント研修
  - 九日 火 安全・感染・褥瘡・給食・臨時感染対策・安全管理委員会
  - 十日 水 伝達能力向上研修
  - 十一日 木 二葉「卒業を祝う会」
  - 十五日 月 サービス向上委員会
  - 十六日 火 入所部門基本構想策定会議
  - 十八日 木 常任理事会
  - 二十三日 火 ISO推進会議／連絡協議会／臨時感染対策・安全管理委員会
  - 二十五日 木 第三回理事会
- 四月
- 一日 木 新任職員研修
  - 五日 月 診療部・療育部会(移転関係)
  - 六日 火 移転後給食システムの試食会
  - 七日 水 昼礼
  - 十二日 月 人事考課会議／ユニットケア研修
  - 十三日 火 診療部・療育部・事務部会(移転関係)
  - 十五日 木 安全・感染・褥瘡・給食・医療ガス・輸血・臨時感染対策・安全管理委員会
  - 十九日 月 二葉「入学・進学を祝う会」電子カルテシステム委員会
  - 十九日 月 新型コロナウイルスワクチン接種一回目(二十八日迄)
  - 二十二日 木 常任理事会
  - 二十六日 月 移転会議
  - 二十七日 火 ISO推進会議／連絡協議会／臨時感染対策・安全管理委員会
- 五月
- 六日 木 研修委員会
  - 十一日 火 安全・感染・褥瘡・給食・臨時感染対策・安全管理委員会
  - 十二日 水 感染対策研修(食事ケア)
  - 十七日 月 サービス向上委員会
  - 二十日 木 常任理事会
  - 二十一日 金 日本重症心身障害福祉協議会定時総会
  - 二十五日 火 日本重症心身障害福祉協議会全国施設協議会議
  - 二十七日 木 ISO推進会議／連絡協議会／臨時感染対策・安全管理委員会
  - 二十八日 金 春まつり

社会福祉法人 榊 桐 会  
 はんな・さわらび療育園

〒370-3341

群馬県 高崎市 榊名山町 28-30

TEL 027-374-9221(代)

FAX 027-374-9159

<http://www.shintokai.jp/>

E-mail:sawarabi@h-sawarabi.com

発行責任者 園長 金子広司